

小規模企業景気動向調査

[平成22年8月期調査]

～小売業を除き減速、足踏み状態となった小規模企業景況～

2010年9月30日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2010年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…小売業を除いて減速、先行きが危ぶまれる小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲38.7と前月調査に比べ2.0ptの悪化という結果となった。要因としては、これまで海外需要により比較的堅調を示していた製造業において円高等の影響を受け、足踏み状態となったこと、建設業において依然として需要不足が続いていることなどが挙げられる。特に円高については「下請けのため影響が1～2ヶ月ほど遅れて出てくると思われる。」との声もあり、今後の先行きを懸念する声は大きい。

<製造業> ◇…円高の影響もあり、これまでの持ち直し基調に一服感がうかがえる製造業…◇

製造業DIは、▲24.0と前月比で3.4ptの悪化となっている。依然として、中国等海外需要拡大の恩恵を受け、自動車部品や半導体等で堅調を伝える声が聞かれるも、「リーマンショック以前の8割程度にまでは回復してきているが、これ以上の好転は、望めなさそう」(機械部品製造業)など、これまでの持ち直し基調に一服感が伺えるとの指摘もある。また、「円高による元請からの単価削減要請があり採算が悪化しつつある。」(自動車部品製造業)など、円高による採算の悪化を指摘する声も聞かれている。

<建設業> ◇…深刻な需要不足が続く建設業…◇

建設業DIは、悪化が続いている。例年この時期は公共事業を初め工事が少なくなる時期ではあるが、「9月からの入札案件を見ても依然少ない。もう少し官庁関連の仕事が出るようにならないか。」(三重県)といった声が聞かれるように、公共事業の減少は地域の建設業者にとって深刻な影響を与えている。また、採算面においても「採算割れの低価格での入札が相次いでおり、小規模事業者では体力的に持たない。」といった状況が続いており、「夏枯れ」という季節的な要因だけでは説明のつかない深刻な需要不足が続いている。

<小売業> ◇…猛暑の影響により堅調な小売業…◇

小売業のDIは、持ち直しの動きが続いている。家電小売業において、エコポイント制度による薄型テレビと猛暑によるクーラーの販売が好調であるとの声が聞かれている。清涼飲料水や夏物衣料等においても好調を示しているとのこと。一方で野菜価格が高騰し、青果の売上は減少しているという。たばこ小売店においては、増税前の駆け込み需要が発生しているという。

<サービス業> ◇…地域経済縮小の影響を受けるサービス業…◇

サービス業DIは、横這いを示している。好天に恵まれた地域においては旅館等観光関連の業種において堅調とのこと。また理容業においても猛暑のため、短髪を希望する顧客で売上が増加したとの声も聞かれている。一方で、少子高齢化による地域の顧客の減少は、依然として深刻な影響を与えている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲33.5	▲35.4	▲1.9	▲16.8	▲17.0	▲0.2	▲46.9	▲54.1	▲7.2
採算	▲35.0	▲36.0	▲1.0	▲22.9	▲23.3	▲0.4	▲51.9	▲56.6	▲4.7
資金繰り	▲34.3	▲34.8	▲0.5	▲22.8	▲22.2	0.6	▲53.4	▲57.7	▲4.3
業況	▲36.7	▲38.7	▲2.0	▲20.6	▲24.0	▲3.4	▲53.8	▲60.7	▲6.9

業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲32.1	▲30.7	1.4	▲38.1	▲39.7	▲1.6
採算	▲35.7	▲32.0	3.7	▲29.7	▲32.1	▲2.4
資金繰り	▲31.4	▲29.2	2.2	▲29.8	▲30.2	▲0.4
業況	▲35.9	▲34.0	1.9	▲36.8	▲35.8	1.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 市場開拓支援課

〒1050004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:森田 修造